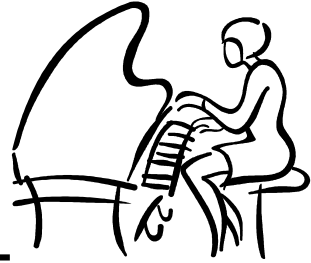


豊田市美術館

Surprise Concert



高橋節郎氏が漆装飾を施したピアノを囲んで、
ピアノとヴァイオリンのデュオをお楽しみください

日時:2012年10月21日(日)

1回目 13:30~14:00 ・ 2回目 15:00~15:30

場所:ホワイエ(講堂前)

出演:寺本みなみ(ピアノ) 寺本みずほ(ヴァイオリン)

主催:公益財団法人高橋記念美術文化振興財団
問合せ先:豊田市美術館 ☎0565-34-6610

出演者紹介記事 広報とよた 9月1日号にて紹介されました。



市民のひろば

青春 じまん中

第5回
ピアノとバイオリンのデュオ
豊田市文化新人賞 受賞

きずな深めた 姉妹が奏でる理想の音楽

穏やかに始まった調べは時に激しく、情熱的な音色で観客を引き込みます。寺本みなみ・みずほデュオは、イタリアで行われたヴァレリア・マルティナ国際コンクールの室内楽部門デュオで満場一致の1位を受賞したほか、数々の国際コンクールで輝かしい成績を収めている姉妹デュオ、ピアノとバイオリンの2人組の演奏家です。

姉のみなみさんはピアノの先生をしている母親の影響で幼い頃からピアノに慣れ親しんで育ちましたが、中学生まではレッスンに通うことはありませんでした。本格的にピアノを始めたのは意外にも遅く、高校2年生の時です。「ピアノの道に進みたい」。一大決心をしてレッスンを開始。県立芸術大学に進学しました。しかし同級生は音楽科の高校を卒業した人ばかり。テクニクの差は歴然たるものがありました。大学卒業後はロンドンに留学し、1日6〜8時間の猛練習で基礎を磨きました。「思うように弾けない時もありました。諦めず音楽への理想を持ち続けていたのがよかったのかもしれない」と苦しかった当時は振り返ります。



寺本みなみ・みずほデュオ
(姉 31歳・妹 28歳)
上野町

妹のみずほさんがバイオリンを始めたのは4歳の時。母親にバイオリンを習いたいと懇願し、月3回のレッスンに通うようになりました。中学2年生の時に刈谷市で開催された「子供のためのヴァイオリン・コンクール」で金賞を受賞すると、本格的に続けていくと決意。名古屋市立菊里高校音楽科に入学しました。卒業後は国内の音楽大学へ進学する予定でしたが進路を急きよ変更。フランスへの留学を決行すると、言葉の壁にぶつかりました。準備はきちんとしておくものですね。当時はボンジュール(こんにちは)、メルシー(ありがとう)くらいのフランス語しか分からなかったため、電車を乗り間違えてしまったり、違う授業に参加してしまったり、いろいろな失敗をしました。でも自分で決めた道なので満足しています。

コンクールやコンサートでは精神面が演奏に大きく影響しますが、みずほさんは緊張した時でもみなみさんの顔を見ると安心するそうです。海外生活できずなを深めた2人は昨年日本に帰ってきました。豊田はほっとできる大切なふるさと。これからは豊田を拠点に演奏活動をして、少しでも地域に貢献したいと思っています。日本を離れた分、ふるさとへの思いが強くなったと言います。みずほさん。これからはクラシックのみでなくいろいろなジャンルの音楽に挑戦し、喜んでもらえる演奏を模索していきます。